

# ねりま NPO ニュース

主な  
内容

- 1面／自然エネルギー普及のためのしくみ作り
- 2面／障害も年齢も超えて一緒に楽しめるスポーツ
- 3面／石神井から世界へ！夢の弦楽オーケストラ
- 4面／区内NPOの現況⑯、NPO助成金情報

発行／練馬区NPO活動支援センター  
 情報発信事業／担当  
 NPO法人練馬区障害者福祉推進機構

## 自然エネルギー普及のためのしくみ作り 環境まちづくりNPO 元気力発電所



理事長の新藤絹代さん 事務局長の江原文子さん

「1986年に起こったチェルノブイリ原発事故では、日本でも放射能に汚染されたお茶や牛乳、野菜などが見つかりました。原発がある限り食物の安全はないという現実を目の当たりにし、何とかして原発をなくしたいと活動を始めたのがきっかけです」と語るのは、理事長の新藤さんです。

平成13年、練馬に非営利市民団体「エコ・メッセ」を設立。原発の反対を訴えるだけでなく、自然エネルギーの推進に力を入れ、都内全域に活動を広げました。

より地域に根差したいと、平成26年4月、環

境まちづくりNPO「元気力発電所」として再スタートしました。

「自然エネルギーを身近に感じてもらおうと、大学や幼稚園などに屋根装着型ソーラーパネルを寄付し、これまでに区内5か所に市民発電所を設置しました。そのための資金確保は、チャリティーショップの売上げを資金源とする海外の市民運動をヒントにしました」

関町、練馬、石神井の3か所に開設したリユースショップを環境ステーションとして位置づけ、寄付された家庭の不用品を販売。この売上げを市民発電所の設置費用に充てるというしくみです。

「毎月、各市民発電所にスタッフが出向き、発電状況などを確認しています。電力の増減をモニターで確認できるので、保育園では子どもたちの関心も高いんですよ」と、事務局を務める江原さん。

現在、スタッフ20名のほか、寄

付などで支えてくれる人がたくさんいるため、不用品の寄付も十分に集まるのだそうです。

「去年は、ステーション合計で5,685件の寄付が寄せられ、利用者はのべ3万4,000人でした」（江原さん）

また、毎月第3水曜日、石神井のステーション前でソーラークッカーを使ったイベントを行っています。

「今後は他の団体との交流で活動の幅を広げていきたいですね。ま



市民発電所5号機「りっこう」

た、日本は自然エネルギーへの取り組みが遅れているので、世界の動向をもっ

と伝えていきたい」（新藤さん）と、意欲的です。

現在、6か所目となる新たな市民発電所の設置場所を探しているとのことですよ！



石神井の環境ステーションの店内。毎日通ってくるお客さんもいるそう

■環境まちづくりNPO 元気力発電所  
 理事長：新藤絹代  
 住所：石神井町1-24-6  
 TEL：5393-5944  
 メール：genkiryokuhonbu@diary.ocn.ne.jp  
<http://www.npo-genkiryoku.org/>

### NPO に関するご相談を受け付けています

#### 練馬区NPO活動支援センターを構成する団体

#### NPO 法人の立ち上げ、立ち上げ後の運営全般に関すること

- NPO法人練馬区障害者福祉推進機構 ☎ 6904-1033  
 豊玉北4-11-7 月～金曜日 9時～17時

ねりまNPO

検索

ホームページは  
 こちらから

#### ボランティア活動への参加、ボランティアグループの運営全般、NPO 法人の立ち上げに関すること

- 社会福祉法人練馬区社会福祉協議会
- ① ボランティア・地域福祉推進センター ☎ 3994-0208  
 練馬区役所東庁舎3階 月～金曜日 9時～17時
- ② 光が丘ボランティア・地域福祉推進コーナー ☎ 5997-7721  
 光が丘区民センター6階 月～金曜日 9時～17時
- ③ 大泉ボランティア・地域福祉推進コーナー ☎ 3922-2422  
 東大泉2-8-7パレスフォンテン3 1階 火～土曜日 9時～17時
- ④ 関町ボランティア・地域福祉推進コーナー ☎ 3929-1467  
 関町リサイクルセンター1階 月・火・木～土曜日 9時～17時

## 障害も年齢も超えて一緒に楽しめるスポーツ

### 練馬ボッチャクラブ



代表の稲木祐二さん

「ボッチャ」というスポーツをご存じでしょうか。パラリンピックの正式種目にも採用されており、ペタンクやカーリングに似た室内スポーツです。もともとは重度の障害者向けにヨーロッパで考案されたものですが、障害の有無にかかわらず誰でも楽しめるゲームとして広がりつつあります。

「練馬ボッチャクラブ」は、ボッチャの普及を目指し、平成25年4月に誕生しました。「地域福祉パワーアップカレッジねりま」5期生の有志3人で始め、現在は正会員



握力が弱い人でも持ちやすいように作られたボール。中に砂が入っており、その重さや動きを予想しながらコースを考えます

とサポーター会員合わせて15名ほどが活動中。障害者施設、高齢者施設、児童館など、声がかかれば区内のあちこちに出かけてボッチャを紹介し、ゲームの楽しさを伝えています。そんな「出前ボッチャ」は、今では月4回ほどに。また来てほしいとのリポート依頼が絶えない人気ぶりです。

「実際にやってみると、とても面白いんですよ。体力や技術で勝負が決まらない時もあり、障害のあるなしにかかわらず、子どもから高齢者まで、誰でも手軽に楽しめるユニバーサルスポーツです」と、代表の稲木さん。

この日は東大泉の勤労福祉会館の会議室を利用した、月に1度の練習日。コートは、メジャー

で測って紙テープを貼るだけ。部屋の広さに合わせてコートを作れば、床でも畳でもゲームができます。

ルールも簡単です。赤チームと青チームに分かれ、あらかじめコート内に投げられた白い目標球に向けてボールを6球ずつ投げたり転がしたりします。い



座ったままでも、補助器具を使ってもOK。誰でも一緒にプレーできるのが良いところ

かに白い球に近付けるかを点数制で競い合うというもの。

この日を楽しみに、毎月参加するという車いすや片麻痺の常連さんも一緒にプレーを楽しみました。1投ごとに「あ～惜しい!」「良いコースだね!」と歓声や笑い声が上がリ、ゲームが進むにつれてみんな熱くなっていきます!

「普段は車いすであまり動けない人が、ボールの行方を目で追って思わず腰を浮かせたり、1歩前へ出ようとしたり。その様子は、施設の職員さんも驚くほどです」。

シンプルながら、体だけでなく頭も使うボッチャ。公式大会の審判を依頼されたり、小学校へ招かれてユニバーサルデザインの授業をしたりと、活躍の場が広がっています。

#### ■ 練馬ボッチャクラブ

代表：稲木祐二

メール：nerima.boccia@gmail.com

## カントウタンポポ自生地は野草の天国

第6回



浦部勝彦(うらべかつひこ)

ボランティア団体「光が丘カントウタンポポのなかま」代表。20年程前から趣味で各地の公園・庭園・植物園を巡るとともに、森林ボランティアとして富士山への植林・秩父の杉林の間伐・日光杉並木の下草刈り等を経験。平成11年に入会し、光が丘公園内のカントウタンポポ自生地で活動。平成20年から代表を務める。

### ◆ 落ち葉で焼きいも

毎年早春になると、若草山・大室山・仙石原等の野焼きの様子が報道されます。近くでは、国の特別天然記念物に指定された田島ケ原サクラソウ自生地で野焼きを

行っています。野焼きは野に火を放つことで自然の植生遷移を断ち切り、人為的に芝生やススキ等特定の植生を維持するために行われるもので、落ち葉を燃やすことが目的ではありません。

しかし、秋にカントウタンポポ自生地に大量に降り注ぐ落ち葉や枯れ枝を毎年見るにつけ、「野焼きができれば」との思いが浮かんできます。カントウタンポポは、春に種子が飛んで着地しても種子は秋まで休眠し、秋になると水分を吸収しながら太陽光を浴びて発芽します。古い株も、暑い夏の間は地上の葉を枯らして根だけで過ごす夏眠をし、秋に再び葉を広げて成長します。

そこで、秋から翌年春の開花までは自生地の落ち葉や枯れ枝を取り除き、タンポポの成長を助ける必要があります。私たちは熊手を使って落ち葉掻きをしています



# 石神井から世界へ！ 夢の弦楽オーケストラ

## 石神井Int'l オーケストラ



音楽監督の西谷国登さん

平成25年8月、練馬に新しい弦楽オーケストラが誕生しました。創立者は、指揮者・ヴァイオリニストであり、音楽監督を務める西谷さん。アメリカに8年留学し、海外の楽団の指揮者や講師を歴任したのち、帰国。子どもたちにヴァイオリンを教えるかたわら、地元・石神井で、念願だったオーケストラを結成しました。

「ソロではできないことが、オーケストラならできる。生徒たちに横のつながりを作る経験をさせたかった」と語ります。



初めはオケの練習場所の確保に苦労しましたが、現在は石神井公園ふるさと文化館で定期的に練習をしています

元教え子でプロの米国デザイナーにホームページ制作を依頼して発信したところ、メンバーが一気に集まりました。フェイスブックではイリノイ大学の音楽科教授とつながりができ、来日の際に公開レッスンが実現したとのこと。「インターネットの力は圧倒的！」との言葉にもうなずけます。

「委員会形式で運営したり、自発的にパート練習を始めたたり、オケのメンバーはやる気満々！何より嬉しいのは、音楽を通してみんなが家族のように仲良くなったこと。不思議なことに、仲良くなると上達も早いんですよ」

その語り口はとにかく明るく、バイタリティにあふれています。

「私自身、人を楽しませるのが大好きなんです。だから、みんなにも音楽を純粹に楽しんでほしい。『楽しそうで羨ましい。でも入るのは順番待ち！』という、“楽しそうだけどなかなか入れないオーケストラ”を目指しています(笑)」

また、石神井オケと同時に立ち上げたのが、小学生以上対象の「クニトInt'lユースオーケストラ」。こちらも基本方針は同じです。



クニトオケはインターナショナルスクールの生徒も多く、練習では英語と日本語が飛び交います

「楽しくて楽しくてしょうがないうち、いつの間にかうまくなっているのが理想。だから、いつもハイテンションで練習を行っています(笑)！ 実際、オケのレベルはぐんぐん上がっているんですよ」

自由で楽しい雰囲気は、生徒の成長につながるようですね。

名称に「インターナショナル」と付けているのは、石神井から練馬→東京→日本→そして世界へと国際的に活動するのが夢だから。一方で、出発点である石神井も大切にしており、商店街のふれあい広場で公開練習も行っています。

「いずれ管弦楽のフルオーケストラにしたいですね。将来は、石神井で国際音楽祭を開くのが夢」と、瞳を輝かせる西谷さん。夢への第一歩はもう始まっています！

■ 石神井 Int'l (インターナショナル) オーケストラ  
 連絡先：石オケ&クニトオケ事務局  
 メール：shakuoke@gmail.com  
<http://shakuoke.com/>

が、限られた人員では大量の落ち葉の除去が間に合わず、落ち葉の堆積が起こってしまいます。そこで、認定NPO法人生態工房の協力を得て、毎年12月と1月に「落ち葉で焼きいも」というイベントを開催しています。参加者に自生地の落ち葉を拾ってもらい、集めた落ち葉をキャンプ広場に運んで落ち葉焼きをして、ほっかほっかの焼きいもを味わっていただくものです。

次の「落ち葉で焼きいも」は、12月13日(日)と、平成28年1月31日(日)に光が丘公園で開催予定です。

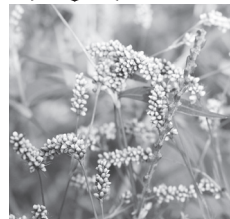
### 今月の顕微鏡観察

#### ●ヤマノイモの葉の道管

植物が根から吸収した水分などの通り道が道管。細胞壁でできた細いチューブをらせん状組織が支えており、水が不足してもチューブがつぶれない構造になっています。



### 自生地の野草紹介



#### ●イヌタデ

子どもが小さな赤い花を赤飯に見立ててままごとに使ったところから、アカマンマの名で親しまれるようになりました。食用になるヤナギタデに似ていますが、葉に辛みがなく役に立たないので、「イヌ」と名付けられました。



#### ●ホトトギス

ユリ科の多年草。長楕円形の葉は互生し、茎は分枝せずに伸び、秋に葉の脇に2〜3個花を咲かせます。花は白色の花被片が6枚。内側に濃紫色の斑点があり、ホトトギスの胸毛に似ていることから名付けられました。

## 練馬区内 NPO の現況⑩

～リーダーの素質、「マメ」と「図々しさ」～

他自治体のNPOセンターで、NPO法人の設立、社会課題・地域課題解決のための団体や組織の設立に長年携わってきた方とお話をする機会がありました。NPOセンターの業務以外にも、別の業務で日本全国各地のNPO法人と仕事をする機会が多いとのこと。

理事長や事務局長等の役職ではなく、ボランティアであれ、入社したての新人であれ、サポートが必要な方々や他のメンバーに良い影響力を与える人をリーダーと考えると、NPOにおける「よいリーダー」には、事業分野、法人格、規模、役職に関わらず、少なくとも2つの特徴を同時に有していることがポイントだと言います。

1つ目は、どの関係者に対しても「マメ」であること。2つ目は、助けを求めるとか助けてもらうことに対して「図々しい」ということ。

NPOの活動は、ヒト・モノ・カネ・情報等のいわゆる経営資源に限られているため、自分たちの組織の外側の資源に強く依存する性格があります。そのため、共感してく

れた人たちの様々な支援を最大限に活用する必要があります。そこでは、「マメ」に組織の内外で支援してくれる人たちにケア（連絡、依頼、報告、御礼等）する必要があるのです。「マメ」なケアが持続的な支援を促す一助になることは間違いないでしょう。

一方で、NPOの実務家・研究者の多くが経験則として、成功・活躍するNPOのリーダーは「助けられ上手」という特徴を挙げています。お話を伺った方は、「助けを求めるとか助けてもらうことに対して“図々しい”」という表現をされました。

しかしポイントは、それを単純に「図々しい」と感じさせないだけの「マメ」さがあることだそうです。「マメ」さが無い、または他の人が「マメ」さを補完するのでは、「あのリーダーはただ“図々しい”だけだ」と言われて、誰も協力してくれなくなる。1人の中に「マメ」と「図々しさ」が同居していることが重要だと述べていました。

次のリーダーを探す時、または、自分たちの組織でリーダーシップを発揮しているのは誰なのかを見る時の視点の1つとして、「マメ」と「図々しさ」は、皆さんの団体の新しい人材発見に役立つかもしれません。

## NPO 助成金情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

### ■電通育英会

学生を対象とした人材育成活動への助成事業・募集要項（2016年度）

#### 【応募資格】

応募できる団体は以下の項目をすべて満たしていることが必要です。

- ・大学生を中心に大学院生・高校生を対象とした人材育成を目的とした活動・プログラムを行なう団体（団体の活動の一部が人材育成活動でも可）
- ・非営利団体（NPO法人または大学学内公認組織など）
- ・設立から1年以上の活動実績のある団体（人材育成活動の実績は問わない）
- ・首都圏（東京、千葉、埼玉、神奈川）に、主たる事務所がある団体

#### 【対象活動・プログラム】

助成の対象となる活動は、以下の条件を満たしていることが必要です。

- ・大学生を中心に大学院生・高校生を対象とした人材育成を目的とした活動。

・ただし、単位の取得を前提とする大学の正課に伴う活動は対象外です。

- ・地域として主に日本国内で行っている活動
- ・他の民間団体からの助成を受けていない、あるいは受ける予定のない活動

※なおセミナーやシンポジウムなど単発の活動でも助成対象となります。

#### 【助成の金額・件数・期間】

助成金額は、A.年額50万円（上限）助成枠とB.年額100万円（上限）助成枠に分けて、選考します。

助成件数は、それぞれの助成枠について、5件以内（計10件以内）とします。

助成期間は原則として、4月～3月の1年間。

ただし、新たな申請により2年目の継続助成までは認めることもあります。

【応募締切り】2016年1月15日（金）当財団必着

#### 【応募方法】

応募用紙をダウンロードし、必要資料と一緒にお願いします。http://www.dentsu-ikueikai.or.jp

### ★音声でお読みください

ご存知でしたか？練馬区NPO活動支援センター発行「ねりまNPOニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。

NPO法人点訳・音声訳集団一步の会  
練馬区高松2-16-12 ☎ 3577-5666

### 発行所 練馬区 NPO 活動支援センター

〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4-11-7

電話：6904-1033 FAX：5946-4902

ホームページ <http://www.nerima-npo.com>

練馬区へのお問い合わせは、  
練馬区地域振興課地域コミュニティ支援係 電話：5984-1039（直通）